



国際会長通信・国際本部ニュース

2008/09 年度国際会長 V.S.バシール

YS メンバーの皆さんは私のテーマ「希望の灯となろう」と熱心に取り組んでいただいております。3万人の会員を達成するのに86年かかりました。今年度私は焦点を奉仕から会員数に変えたいと思い、この思いは08年度の国際議会で承認されました。今日、地球上のワイズメンバーのフォーラムや会議での協議は会員の維持、募集とクラブ設立に絞られています。遅くはありましたが、このことは我々の運動を活性化するためのよき印と言えましょう。これについて私が問題とするところを申し上げます。

まず取り上げるべきは北米のクラブの会員減少です。2008年11月にミネアポリスで北米の指導者達の協議会が行われました。アメリカ・エリアにおける525人の会員増とカナダ・カリビアン・エリアにおける50人の増が確約されたことは、この協議会の大きな成功と高い生産性を物語っています。それは減少傾向を抑えるにとどまらず、大きな慣性でそれを逆転するものであることは記憶すべきです。

08年度9月のフィンランドからエストニア訪問、10月のモスクワ訪問では、クラブ設立への努力を大いに励ますことが出来ました。現地の若いクラブの目的達成への熱望をかき立てることが出来ました。

韓国、日本およびインドの数区からの反応は大きな励ましでした。この焦点の転換はこういった区にワイズ全体の強化という課題を与えることになったのです。

ロールバックマラリア・キャンペーンは、他の継続中のプロジェクトに加えて大きな成功を収めることになるでしょう。このキャンペーンは、特にワイズの国連との連携という意味で、ワイズのイメージを高める大きな刺激となりました。しかし、それは冰山の一角にしか過ぎません。本当の問題は、かつてとは比較にならない熱意とライフスタイルをもっているメンバ

ーを引き付けるためには、私たちのものの見方や思想がいかに意味深いものであるかが重要です。

北米のクラブの EMC 協議会は、生き残りのために必要な我々のイメージ、マーケティングのための資料、物品、取り組み方および変化の必要性について多面的な洞察を行いました。

フィラデルフィアで行われた奉仕クラブ指導者会議では、人々の熱意の変化および世界的規模におけるボランティア団体の意味、そして会員募集の過程で我々が直面しているハードルの高さについて改めて認識させられました。

これらすべては、私たちの団体を近代化して、より社会に意味のあるものにするために、変化が必要であることを示しています。この変化は、社会全体のレベルから、個々のレベルにまで及ぶ必要があります。私たちは、変化を担うものとなって、この課題に立ち向かいましょう。そのために、希望の灯になりましょう。そして、手に手をとって目指すところはこれ以外にありません。クラブの設立! 設立!! 設立!!!

ワイズメンズワールド

2008/09 年度 第2号 日本語版

発行者

東日本区理事 清水弘一(仙台青葉城)

西日本区理事 佐藤典子(熊本ジェーンズ)

国際編集長: Alan Wallington

翻訳・編集責任: 山川一郎(姫路グローバル)

印刷: 三浦印刷所

次号の原稿締切日

2009年1月28日

皆さんのクラブの活動を是非世界のワイズメンに知らせましょう。(原稿は日本語で結構です。)

原稿送り先: 〒670-0831 姫路市城見町168

山川一郎 TEL:079-288-7777

yamaqua@vesta.ocn.ne.jp

国際会計 Klaus Dietzel

数字の羅列、特に財務の数字の羅列は退屈だという人がいます。本当は退屈する必要はありません。お茶の時間のつもりで、色々な種類のケーキを味わってみませんか。

1. プログラム・プロジェクト・ケーキ

このケーキは、TOF 拠出金という一つの厚い層と、BF プログラム、ASF 資金とエンダウメント・ファンドからの拠出という三つの薄い層で出来ています。

2007/08 年度中ワイズメン全体（つまり皆さん）が捧げたお金は 558,000 スイスフラン(CHF)でした。



では、その中身を見てみましょう。

タイム・オブ・ファースト(TOF)には、281,500CHF が寄せられました。この資金の中から 9ヶ国で 11のプロジェクトに援助が出来ました。

BF 資金には、178,800CHF が寄せられ、21人のBF 代表の全額援助、63人の一部援助に向けられ、エリアのBF ワークや旅費に 75,000CHF、そして 2008 年度コース・コンボケーションのために 20,000CHF が使用されました。

アレキサンダー 奨学資金 (ASF) への 醸金は 14,300CHF でした。この額は、クラブが集めた金額の 10%に過ぎません。残りの 90%は、YMCA の指導者研修のためにエリアが保留します。YMCA 世界同盟からもその指導者研修支援のために 16,000CHF の要請があり、これに応じました。



エンダウメント・ファンド（信託資金）は、あらたに 144,000CHF の寄付があり、その表彰のために 1,000 米ドルにつき

「冰山」と「盾」が合計 14 個授与されました。この寄付は、私たちの団体の永続性を確保するためのエンダウメント・ファンドに入れられます。

2. 経常収入・ケーキ

この 80%は、皆さんの国際負担金から、5%が前年度の余剰金を積み立ててきた一般資金の金利から、12%は、特別開発、クラブ設立等に対するプログラム醸金から、2%が一般運営のためのプログラム醸金から、1%は、雑収入（クラブ・チャーター費等）から構成されます。合計経常収入は、1,090,000CHF となりました。

皆さんの国際負担金は大きな感謝をもって受け取っています。

さて、ここでちょっと休んで、コーヒーや紅茶を飲みながら、経常支出のケーキをご一緒にいただきましょう。



3. 経常支出・ケーキ

経常支出は、運営費のみならず、

研修、年央議会、国際議会等とともに、将来およびユースへの投資のためのものです。では、このケーキの一切れ一切れを見てゆきましょう。

ワイズ発展のための投資

全支出の 4.3%は指導者研修、将来計画、ワイズ・イメージの高揚、マーケティングといった投資に向けられます。

7.1%は、クラブ設立と会員増強支援のために使われ、

2.4%は、ワイズユースのニューズレターやコースコンボケーションの支援に使われ、

4.5%は、ワイズメンズワールドや YMCA ワールド等皆さんへの連絡のために使用し、13.3%は、国際大会、年央議会等の会議に必要な旅費に使い、3.6%は、国際会長、国際会計、国際事業主任、国連・YMCA 連絡、ヒストリアン等（直前、次期等を含む場合あり）の事務費や旅費に充当します。



これらすべては国際本部が管理しなければなりません。世界中にわたり、皆さんのような会員、クラブ、区、エリアのお世話、報告もせねばなりません。このためには次のような割合で支出が必要となります。

11.3%が家賃、諸材料、燃料電気、通信その他の本部経費に、50.1%が人件費（給料、社会保険、年金等）に必要です。人件費は、3.5 人のスタッフ、一人のコース・インターンと国際書記長をカバーしています。ワイズの会員当りのスタッフ数は、他の殆どの NGO よりも少なく、従ってスタッフ一人当たりの仕事量は大きいと言えます。

3.4%は、雑費や緊急費に使用されます。

五時のお茶にしては、ボリュームがあまりすぎました。消化



不良ではありませんか。でも、お付き合いくださり、有難うございました。皆さんの疑問にはすべてお答えしたつもりです。まだご疑問がおありなら、dietzel.klaus@ysmen.deまでお問い合わせください。

YES-新しい国際プログラムが生まれた

YES 特別委員会委員長

Poul-Henrik Hove Jakobsen

YES とは、Y's Extension Support programme (ワイズ・クラブ設立支援プログラム) の略称です。

YES の目的

YES の目的は、世界中のワイズメンのクラブ設立活動にクラブや個人が醵金できるようにすることです。

YES の背景

YES プログラムの背景は、クラブ設立こそが我々の組織の生命であり、血液であるということです。にもかかわらず、我々は長年クラブ設立資金の不足に悩んで来ました。そこで、国際議会で、クラブや個人がクラブ設立のための醵金ができるようにすることを目的にこの新しいプログラムを立ち上げることに決めました。勿論この醵金の全額がそのままクラブ設立のために使われるのです。

何故、YES でしょうか

ワイズ以外の世界中の奉仕団体は衰退傾向にあります。新しいYES プログラム設立の提唱によって、国際議会はワイズの衰退を回避できると期待しています。エンダウメント・ファンド(EF)の生み出す利息が特別開発支援(SDS)およびクラブ設立のために使用されていることは既にご承知と思います。EF からの資金提供は世界中の区にとって大きな恩典です。しかし、クラブ設立のためにはもっともっと資金が必要です。何年にもわたってクラブは EF に醵金してきた結果、この資金は現在 2 百万米ドルに達しました。それはまさにワイズメンズクラブ国際協会にとって十分な支援基金であり、EF 基金協議会は、今後もこの 2 百万米ドルからの利息を国際ワイズの発展のために使用することを承認してゆくでしょう。しかし、私たちには今クラブ設立に直接向けられる資金をもっともっと必要としています。皆さんの YES への醵金によって、皆さんの浄財がただちにクラブ設立に役立つこととなります。

YES への醵金はなぜそんなに必要なのでしょう

地域に永続的に奉仕が出来るか否かは、新しいワイズメンズクラブが出来るか否かにかかっています。我々が一つの地域奉仕を支援すれば、そのプロジェクトは当然その恩典を受けます。しかしワイズメンズクラブを設立すれば、多くのプロジェクトが何年にもわたって恩恵を受けます。だからクラブの設立は確実に永続的な支援ができ、YMCA に奉仕でき、他の相応し

い団体を支援できる最もよい方法と言えましょう。

醵金

YES への醵金の三分の二はそれを行ったエリアに返還されます。お金はそれを出したところでこそ最も生きて使われます。だから、国際議会は、皆さんのエリアからの拠出額の最低三分の二は自動的に拠出したエリアに直接戻されることを決めました。そのお金は、エリア内の区がクラブ設立のために使うことが出来ます。残りの三分の一もクラブ設立のために使われます。すなわち、それを受けるに最も相応しいエリアに送るか、YES 国際事業主任が国際レベルで使用します。YES プログラムを始めるに当たって、国際議会は毎年の決算で出た余剰金の 10%を YES に配分することを決めました。国際本部は、皆さんからの醵金をお待ちしています。YES に一定の金額を醵金したクラブや個人は表彰されます。

心のこもった贈り物



デンマーク教会メディアセンターは去る 10 月デンマークのオールフスでその 20 周年記念の特別イベントを行い、ワイズメンズクラブ国際協会からは、ラッセ・ベアグシュテッド直前国際会長、ケヴィン・カミングズ次期国際会長、ロランド・ダルマス国際書記長が代表として参加しました。このお祝いのイベントの中で、デンマーク教会メディアセンター議長の Morten Aagaard 氏から非常に心のこもった贈り物を頂きました。「ワイズメン国際協会とその 8 つのエリアのための新しいウェブサイトとインターネット通信の開発とデザイン」です。この贈り物にはまた、新サイトの最適の管理活用が出来るよう、国際および八エリアのウェブマスターの最新ソフトウェアでの研修が含まれています。新しいウェブサイトの最初の原案は 09 年度年央会議で披露される予定です。

国際書記長 ロランド・ダルマス

近年 YMCA とワイズメン間の相互協力は、国際のみならず、各国および各地レベルでも緊密度を増していることが明らかに伺われます。

2008年3月、当時のラッセ・ベアグシュテッド国際会長と私は、米国に住んでいる一人のエジプトの方に招かれ、エジプトにおいてワイズとYMCAがどのように役割を果たしているか見に行きました。両組織は私たちの訪問を支えてくれました。その結果、エジプトYMCA同盟の指導者は私をYMCA協議会に招いてくれましたが、そこにはエジプトの23の各個YMCAの指導者が参加していました。その協議会の明確な目的は、各個YMCAの中にワイズメンズクラブの設立を促進することでした。

この協議会はエジプトのアレクサンドリアで本年10月に行われ、40人以上の同盟および各個YMCAの指導者が出席しました。この共同努力の結果、多くの各個YMCAはワイズメンズクラブ形成の促進へと多めに動機付けられました。彼らは、私たちの組織をYMCAのさらなる資産活用のツールとして認識しているのです。

私たちは2008年6月、ラテン・アメリカの三つの新しい国 コスタリカ、ニカラグアおよびエクアドルでワイズメンズクラブが認証された時にこれと同じ経験をしました。これら三つのクラブは、YMCAの全面的支援をもって始めました。YMCAのスタッフおよびボランティアの参画はこれら三つの国にワイズの旗を立てるのに必要欠くべからざるものでありました。

これらの協力の例によって、私たちの組織が、もっと大きくYMCAと地域に奉仕するために人的、財的資源の可動化が必要な国々へ手を差し伸べる機会が示されています。さらに、YMCAとの全面的協力の下にワイズメンズクラブを立ち上げることは、オハイオ州トledoで1922年に組織された私たちの元々の目的と一致しています。

種はまかれました。しかし、果実を生み出すには耕すことが必要です。そのためには、YMCAとワイズ国際協会からの思いやりと献身とそして時間が必要です。ワイズメンを生き返らせ、強め、伸ばす風が地球上のあらゆる場所に吹いています。私たちの組織がその生命の新しい局面を開き、現在の地域により意味のある存在になるように期待しましょう。



ロールバックマラリア共同事業

国際の締め切りは2009年3月31日です!!!

東日本区の締め切りは2月末です!!!

ロールバックマラリア・キャンペーンはワイズメンバーの心を捉えつつあります。多くのクラブと区のプレティリンでのアピールも広まってきました。

デンマーク区は、ロールバックマラリア・プロジェクトのための資金づくりと意識高揚プログラムを立ち上げました。10,000本の蚊叩きを発注し、それをロールバックマラリア・キャンペーンのロゴと言葉で飾りました。約100のクラブが参加し、1本20DK(訳注:デンマーク・クローネ、1DKは約19円前後)で売っていきます。クラブは1本に3DKを支払い、12.5DKはRBMプロジェクトに送られ、4.5DKをクラブに残し、他のチャリティ・プロジェクトに寄付したり、使います。区の目標は蚊退治キット3,500個(国際目標の17.5%)です。

カナダのオーウェンサウンドYサービスクラブは、本プロジェクトへの意識を高め、広めるために熱帯病専門家による講演を主催しました。



イギリスのキングズウッドYMCAは、メンバーがすべてのメンバーにお祝いの言葉を書くことが出来る共同のクリスマスカードを作っています。これに言葉を書き入れる際にお金を払うのです。こうして、個々のカードを節約し、節約できたお金をチャリティへ寄付できます。今年は、この金はロールバックマラリアに送られます。

このキャンペーンの最初の月に米国のシールビーチ・レジャーワールド・ワイズメンズクラブは、1,114米ドル、即ち一人当たりキット2個分の資金を作りました。それ以後の月では間違いなくこの金額は倍になることでしょう。多くの懐かしい退会者の皆さんが協力できれば、この運動は20,000キットの目標を遥かに超えるでしょう。

USAエリアは、ロールバックマラリア・プロジェクトへの寄付が免税になるよう働きかけています。